

看護の道 決意新たに 八学大2年生 宣誓式 69人が宣誓

「差別や偏見を持たず、全ての命に向き合う」と宣誓の言葉を読み上げた。水野学長は「高度な技術を身に付けるとともに、医療の進歩に役立てる探求心を育むことを期待する」と激励した。学生を代表し横濱亜未さん（19）が「理想の看護師を目指して一層努力する」と決意を述べた。式終了後、NPO法人「口から食べる幸せを守る会」の小山珠美理事長が記念講演を行った。

（相澤賢斉）

八戸市の八戸学院大学（水野眞佐夫学長）は7日、同大学で健康医療学部看護学科の学生による「宣誓式」を行った。1年間の基礎看護教育を終え、医療現場での本格的な実習を控える2年生69人が看護の道を歩む決意を新たにした。式で行ったキャンドルサービスでは、白衣に身を包んだ学生が、ナイチンゲール像から分けた火がともったろうそくを手に



火がともったろうそくを手に看護の道へ進む決意を新たにした学生たち